

2

ぼつち、最高！

さいこう

さいこう

さいこう

さいこう

さいこう

さいこう

バニラムーンで、ほしかったヘアアクセをおこづかいで買ったあと。

前から行きたいなと思つていた、カヌレが人気の店によりみちすることにした。

ラズベリーのカヌレとミルクたっぷりのカフェラテを、スマホで撮影してから、新作コ

スメをチェックしていたら……。

「すみません、となり、いいですか？」

店内に入ってきた四人組の女の子たちに声をかけられた。

「あ、どうぞ。」

顔を上げて、飲みかけていたカフェラテを思わずブーツとふきそうになつた。

(ヤバ！ 小池さんたちだ……！)

となりのテーブルに座つたのは、同じクラスの小池梨々花さん、それから足立さん、広

瀬さん、八木さんだつたつけ……。

四人は、クラスでも一番目立つグループの一軍女子だ。

わたしとはちがう世界に生きてる『あつちの国』の人たち。

ふだん、ぜんぜん関わりがないけど、小池さんは教室で、わたしのとなりの席に座つて
いる。

いくら変身していても、さすがにこの距離だと気づかれちゃうかも。

心配になつてチラッと横目で見たら、小池さんとばつちり目が合つてしまつた。
あせつて視線を外したら。

「ねえねえ、となりの子、めつちやかわいくない？」

「ホントだ。」

「モデルだつたりして。」

四人がこそこそ小声で話してるのが聞こえた。

(……え？ かわいい？ もしかして、わたしのこと……！?)

おそるおそる視線を戻すと、今度は四人全員とばつちり目が合つてしまつた。

(はわわつ、今度こそ、バレちゃつたつ!?)

あせつて下したを向むけくと、

「やつぱ、絶対ぜったいモデルだよ。」

「あんなかわいい子、こんなところでなにしてんだろうね。」

（よかつたく、バレてない。……けど、モデルだつて！　えへへ、うれしいな♪）

ホツとして、カフエラテを飲むふりで、小池こいけさんたちの会話かいわに耳みみをすます。

ぬすみぎきはよくないつて、もちろんわかってる。

だけど、わたしには、特定とくていの友ともだちがいなくて（ちょっと話はなしかけるくらいの子こはいる

よ!?）、クラスで今いまどんなことが話題じょうばいになつてるか、よくわからないんだよね。

だから、情報収集じょうほうしゅしゅうつてことで。

「ね、水無瀬くんつて、次つぎはいつ学校がっこうに来るんだろうね。」

「ホント。せつかくあのLEOレオと同じクラスになれたと思おもつたのに、入学にゅうがくしてから数回すうかいし

か來きたことないんだもん、がつかりだよね。」「水無瀬くんつて彼女かれじょいるのかなあ。」

(あ、そういうえば、うちのクラスには有名人がいるんだつけ。)

わたしの通うシャルマン学園は、私立の中高一貫校。

入学してから知ったんだけど、学内には何人か芸能活動をしている人がいるみたい。
同じクラスには、LEO名義で活動をしている水無瀬怜央つて男子がいる。

小さいころから子役として活動してたらしいけど、最近、ドラマや雑誌にもよく出でてい
て、ネクストブレイク俳優つて騒がれてるらしい。

けど、仕事が忙しいらしくて、数えるほどしか学校に来たことがない。

ちなみに高等部には、今、女子中高生に一番人気の俳優兼モデル・甲斐亞嵐つて先輩も
いるようだ。水無瀬くん以上に学校に来ないらしくて、見かけたらラッキーなリアキヤラ
なんだつて。

前に一度、水無瀬くんが登校してきたときのこと。
変身メイクの見本にならないかと思つて、授業中、自分の席からまじまじと観察したこ
とがある。

遠くから見てもまつげが長いのがわかつたし、クラスの誰よりも顔が小さくて、明らかにただものじやない感じがした。

なんていうか、全身がキラキラしていて、芸能人オーラがすごいんだよね。しかも、あんまり学校に来てないのに、先生にあてられてもスラスラ答えて、勉強もできるみたい。

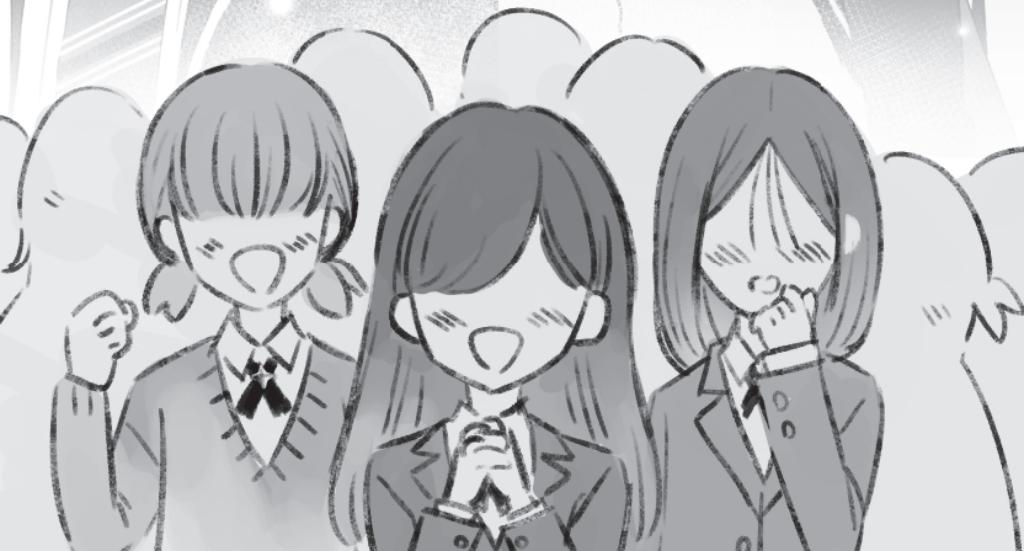
まさに、『あつちの国』の王子様つて感じ。

肌がめちゃめちゃきれいで、なんのコスメを使つてるんだろうと、つい前のめりになつてしまつたら、ガツシャーンと大きな音を立て、うつかりペンポーチを落としてしまつたんだ。

「ひやつ、すみません。」

あわてて中身をかき集めようとしたら、水無瀬くんは席から立ち上がり、教室のすみにころがつていつたわたしの消しゴムを、わざわざ拾つて持つてきてくれた。

「はい、これ。」「あ、ありがとうございます……！」



さすが芸能人。ただ消しゴムを拾つただけなのに、めちゃくちゃ絵になる……！

そして、いい人！

たぶん、世の中の女の子たちは、ここで「LEOくん、すてき……！」と恋に落ちるんだろうけど、住んでる国がちがいすぎるわたしは「すごいなあ、あっちの国の人は。」と心するだけで終わつた。

(なるほど。一軍女子の話題つて、こんな感じなんだ。やつぱりキラキラしてるなあ。)

わたしには関係ない話だつたな、と納得して、またカフェラテを片手に、スマホをいじりはじめた。

そのタイミングで、小池さんが「トイレ行つてくるね。」と言つて席を立つ。すると。

「ね、梨々花つて、絶対自分のことかわいいって思つてるよね。」

「わかる。わたしが『水無瀬くんつて彼女いるのかなあ。』って言つたら、ちょっと笑つてなかつた？」

「見た見た！自分が彼女になれるとでも思つてんじやない？」

「性格悪いよね。」

残つた三人が、口々に小池さんの悪口で盛り上がりはじめて、またカフェラテをブーツとふきそうになつた。

(ええつ？ 今さつきまで仲良くしゃべつてたのに、なんで??)

となりで聞いていたかぎり、小池さんはなにも悪いことはしていなかつた。

ただ笑つて、みんなの話を聞いてただけだ。

なのに、そこまで事実をひん曲げて、悪口につなげる二人のほうが、よっぽど性格悪いと思うけど。

「ごめんね！」

小池さんが戻つてきた。

「ううん、ぜんぜん！」

三人は、笑顔で小池さんを迎えて入れ、なにごともなかつたかのように、またにこやかにおしゃべりを始めた。

その切り替えの早さに、

(コツワ、一軍女子……！)

わたしはとなりで、がたがた震えながら冷めたカフェラテを飲みほした。
中学に入学するとき、メイクの力を借りて、一軍女子にもぐりこむつて作戦も、ちょつとだけ考えたことがある。

だけど、やめといて本当によかつた……。

こんなにオソロシイ人間関係、わたしには無理ゲーすぎる……！

あつちの国の人たちは、友だちとの関係がどうしたとか、カッコいい男子がどうしたとか、いろいろ大変そう。

やつぱりわたしは、ひとりでいるほうがいいや。

だつて、ひとりでいたら、めんどくさいことなんてなんにもない。

好きなときに好きなことができるし、誰かに合わせて気持ちを乱されずにすむ。
ばつち、最高！